

名古屋港

港湾機能の強化に向けた

要望書



平成 30 年 7 月
名古屋商工会議所
名古屋港振興協会
名古屋港利用促進協議会
名古屋海運協会
名古屋港運協会
東海倉庫協会

名古屋港の港湾機能の強化に向けた要望

日頃は、名古屋港の発展のために、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

名古屋港は、背後圏に我が国の経済を牽引する自動車、工作機械、航空・宇宙、鉄鋼、電気製品等の「ものづくり産業」が集積しており、中部地域の発展に欠かせない非常に重要な港湾インフラであります。

平成29年の総取扱貨物量は、約2億トンと16年連続で日本一、貿易黒字額は、他港を大きく引き離す約7兆円を誇るなど、国内屈指の実力を持つ名古屋港は、中部地域の海の玄関口として着実な成長と発展を続けております。

今後も、中部地域の「ものづくり産業」が我が国の経済・産業を牽引し続けるためには、生産性向上によるさらなる成長を図る必要があります。そのためには、国際産業戦略港湾として物流面を支える名古屋港が、この地域のストック効果を最大限に発現できるよう、コンテナ貨物、完成自動車及びバルク貨物の取扱機能をより一層強化していくことが必要不可欠であります。

併せて、持続的な港湾整備等に伴い発生する浚渫土砂の新たな処分場の早期確保及び、クルーズ関連港湾施設、名古屋港への道路ネットワークを拡充する必要があります。

今後予想される南海トラフ巨大地震等の大規模災害により、名古屋港の物流機能が麻痺することは、我が国の経済に深刻な影響を与えかねないことから、防災機能をさらに強化する必要があります。

つきましては、港湾整備及び海岸整備予算の増大を図り、名古屋港の港湾機能の強化に向けた施策の推進に対し、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

1. 東南アジア向けの貨物が急増する中、コンテナ船の大型化が進展しており、**コンテナターミナルの改良**による効率的な輸送の実現に向け、**飛島ふ頭東側における機能強化**について、一刻も早い対応が必要
2. 大型化する自動車運搬船の対応とともに、**完成自動車取扱機能の集約・拠点化**による効率的な輸送の実現に向け、**金城ふ頭における機能強化**について、一刻も早い対応が必要
3. 港内の土砂処分場が限界に達することから、**持続的な港湾整備等**に伴い発生する浚渫土砂を処分するため、**新たな土砂処分場の早期確保**が必要
4. 南海トラフ巨大地震が想定されている中、災害時にも経済活動を停滞させることのないよう、**港湾物流機能の維持**が必要であり、**耐震強化岸壁の整備**などの対応が必要
5. クルーズ需要の増加への対応やクルーズ旅客の利便性向上を図るため、**クルーズ関連港湾施設等の拡充**が必要
6. 名古屋港へのアクセス向上、渋滞緩和を図り、生産性向上による経済・産業の更なる発展と、災害時の避難経路や救援活動の役割が期待される**名古屋環状2号線等の早期整備**や**一宮西港道路の早期具体化**が必要

平成30年7月

名古屋商工会議所会頭	山本亜土
名古屋港振興協会会長	藤森利雄
名古屋港利用促進協議会会長	高橋治朗
名古屋海運協会会長	藤本健
名古屋港運協会会長	後藤正三
東海倉庫協会会長	小澤義行

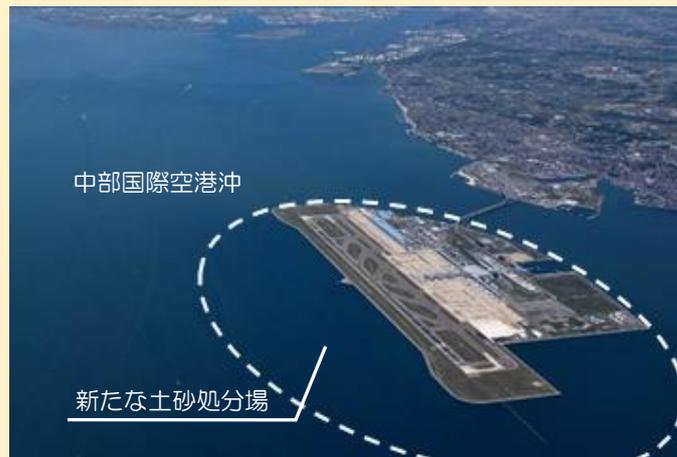
1. 飛島心頭地区のコンテナ取扱機能の強化

2. 金城心頭地区の完成自動車取扱機能の強化



3. 名古屋港の機能確保に向けた

新たな土砂処分場の早期確保



4. 港湾物流機能の維持に向けた耐震強化岸壁の整備



5. クルーズ関連港湾施設等の拡充



6. 名古屋港への道路ネットワークの拡充

